

高砂青松

(合併号) No.20

2011年2月9日 発行

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



「地域を育み、大陸をつなぐ」

Building Communities Bridging Continents
2010~2011年度国際ロータリーのテーマ

Rotary Club



【2010-2011年度 国際ロータリー 第2680地区 東播第2グループ】 Intercity Meeting 「テーマ:インド~伝統と変革~」

平成23年2月5日(土) 於: 加古川プラザホテル2F



講演会

15:00

テーマ「インド~伝統と変革~」
講師 在大阪・神戸インド総領事 ヴィカース・スワループ氏

式典

16:45

開	会	-----	司会	I.M. S.A.A.
点	鐘	-----	東播第2グループ	ガバナー補佐
国歌・ロータリーソング	斉唱	-----	ソングリーダー	
開会の挨拶	-----		I.M. 委員長	
歓迎の言葉	-----		ホストクラブ会長	
来賓紹介	-----		東播第2グループ	ガバナー補佐
ガバナー祝辞	-----		第2680地区	ガバナー
来賓祝辞	-----		第2680地区	ガバナーエレクト
ガバナー補佐挨拶	-----		東播第2グループ	ガバナー補佐
点	鐘	-----	東播第2グループ	ガバナー補佐

高西	田勝	典
西	尾重	淳
西	尾重	利
西	尾重	美
西	尾重	孝
西	尾重	淳
西	尾重	宏
西	尾重	薫
西	尾重	淳
西	尾重	淳

懇親会

17:15	開宴の言葉-----ホストクラブ会長	司会	保	地	富	夫
	乾杯-----パストガバナー		森	田		孝
	アトラクション		神	木		董
	次期ガバナー補佐挨拶-----加古川中央R.C.					
	閉宴の言葉-----I.M.副委員長		大	庫	俊	介
	「手に手つないで」		渡	辺	昭	義



講師のご紹介

ヴィカース・スワループ氏 (在大阪・神戸インド総領事)

1961年6月23日生まれ

1984年 アラハバード大学卒業

1986年 インド外務省入省

1987-1990年 在トルコインド大使館 三等書記官, 二等書記官

1990-1993年 インド外務省(ニューデリー) アフリカ担当課長, 米州担当課長

1993-1997年 在米インド大使館(ワシントンDC) 一等書記官及び大使特別補佐官

1997-2000年 在エチオピアインド大使館(アディスアベベ) 大使代理及参事官

2000-2003年 駐英インド高等弁務官事務所(ロンドン) 参事官(政治部門)

2003-2006年 インド外務省(ニューデリー) 外務大臣室部長

パキスタン担当部長, ネパール・ブータン担当部長

2006-2009年 駐南アフリカインド高等弁務官事務所 高等弁務次官

2009年8月 在大阪・神戸インド総領事館総領事 現在に至る

幹事報告

Secretary

第26回 通算1476回

東播第2グループI.M.ペーパー報告

1. 国際ロータリー第2680地区2011-2012年度ガバナー久野薫様より
サンディエゴよりカルヤン・パネルジーR.I.会長エレクトより
テーマ「こころの中をみつめよう 博愛を広げるために」が発表されたとの報告がありました。
2. 国際ロータリーより
「国際ロータリーとロータリー財団の2009-2010年度年次報告書」が届いています。
3. 国際ロータリー第2680地区新世代委員長安行英文様より
フリーアクションの開催案内が届いています。

近隣クラブINFORMATION

Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	休会(祝日のため)	2/11(金)
	移動例会	2/18(金)於:高砂市医師会館
明石西ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節により)	2/24(木)
	休会(定款第6条第1節により)	3/10(木)

(注)高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。.....ホームページの情報の方が早く把握できます。



佐々木すぐるは高砂町出身で元士族である父・源蔵と母・やをの次男として明治25年に正蓮寺境内に併設された印南郡役所の官舎で生まれました。幼い頃に笛を吹いた機会に音楽に興味をもち、阿弥陀小、神爪高等小学校から姫路師範学校へ進み、正蓮寺の高谷住職の支援で東京音楽学校（現東京芸大）に入学し、卒業後は浜松師範学校の教師になったが、一介の教師で人生を送る気になれず、作曲家を志し、大正11年、31歳の時に再び上京した。

大正12年に有名な「月の沙漠」を作曲しました。全国各地を回り、小学校の音楽の先生相手に講習会を開いて歩いたり、青い鳥楽譜を自費出版したり、青い鳥児童合唱団を主宰したり、多くの努力で佐々木の作曲した歌が全国各地で唄われるようになったようです。

昭和7年に日本コロンビアの専属作曲家となったが、日本コロンビアの専属になってからは、有名な野口雨情、北原白秋、サトウハチロー等と組み、童謡界の作曲家として不動の地位を獲得している。「青い鳥」「お山の杉の子」「兵隊さんよありがとう」「昭和の子供」「赤ちゃんのお耳」等、唱歌や愛国歌を生涯に2千とも3千ともいわれる作品を残している。又、神戸、姫路の複数の小学校、九州、静岡、関東、四国等多くの学校の校歌も作っている。又、「阿弥陀村村歌」「阿弥陀町音頭」「天川中学校歌」「松陽高校校歌」も佐々木すぐるの作曲です。現在、阿弥陀町魚橋の正蓮寺の山門前に森繁久弥の筆による「佐々木すぐる先生生育の地」との石碑が建立されています。

私事ですが、私は阿弥陀村、そして正蓮寺、天川中学校出身です。子供の頃は盆踊りの阿弥陀町音頭初め、村歌、中学校歌を歌う機会も多くあり、今でもおぼろながら覚えています。誰が作ったかも知らずに、現在も地域を育ててくれる有名な郷土の先輩の歌を歌っていた昔を懐かしく思い出しています。正蓮寺保育園は私も兄弟も子供も孫もお世話になっております。

私は昨年、一昨年と1回ずつですが、カラオケで「月の沙漠」を歌った事があります。こういう歌を歌うと損得もなく純粋で清純な自分を発見したような気がします。皆様もいかがですか？

そして、高砂出身の佐々木すぐるの宣伝をしましょう。

例会記録 2011. 1. 26 (水) 通算1555回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」

出席報告 1月12日 会員数48名 欠席者0名 出席率100% <修正による>
(この内出席免除者8名(出席7名))
1月26日 会員数48名 欠席者8名 出席率83.33%
(この内出席免除者8名(出席6名))

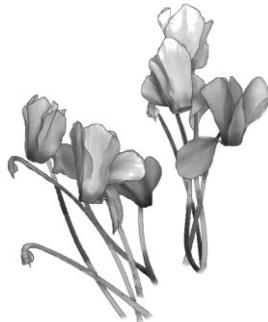
例会記録 2011. 2. 5 (土) 通算1556回

来訪ロータリ ン報告	津田 隆雄 様 (姫路R.C.)	谷田 直昭 様 (姫路南R.C.)
	蔦 明憲 様 (姫路南R.C.)	西海 正隆 様 (明石R.C.)
	河合 宏昭 様 (明石R.C.)	藤本 隆水 様 (明石R.C.)
	井上 雅文 様 (明石R.C.)	伊藤 慎介 様 (明石R.C.)
	成田 良伸 様 (明石R.C.)	

幹事報告 Secretary

第25回 通算1475回

1. 東京ロータリークラブ熊平雅人会員より
「抜萃のつづり」が届いています。
皆様に配布させて頂きました。
2. 国際ロータリー事務総長より
2011年7月1日より2014年6月30日
にかけて、4つの新しい試験的プログラム
を実施されます。
詳細につきましては、回覧させていただ
いております内容にて確認ください。
3. 国際ロータリー公認業者
株フジマキネクタイ様より
R.I.テーマ刺繍入りネクタイの販売案内
が届いています。
4. 例会変更
高砂ロータリークラブ
2/11(金) 祝日のため休会
2/18(金) 移動例会
於：高砂市医師会館
明石西ロータリークラブ
2/24(木) 休会
3/10(木) 休会



委員会報告 et cetera

藤本親睦委員長

新年家族例会多数のご参加ありがとうございました。

ニコニコ報告 Donation

伊藤 勝之

新年家族例会、楽しい企画を頂きました。親睦の皆様ありがとうございました。
これからも楽しい企画をよろしく御願います。

西田 光衛

過日は親睦係の方ご苦労さまでした。
又帰りは志方さんにお世話になりました。

藤本 明久

新年家族例会では多くの出席有難うございました。おかげさまで楽しい会を催す事が出来ました。結婚祝も頂き有難うございました。

小西 文孝

新年家族例会では親睦委員会の皆さんにはお世話になりました。
又、先日は京谷先生にはご教授ありがとうございました。

庄司 武

しばらく例会を欠席してすみませんでした。
今日から頑張ります。
志方さん、お電話ありがとうございました。

志方 正昭・田水 敬雄・田中 浩行

大橋 卓司

菱田会員の卓話楽しみにしています。

伊藤 勝之・鹿間 虹美

廣瀬明正会員の博士号取得を心より尊敬し、御祝を申し上げます。

西中 亮二・松尾 毅

濱中さんはじめ消防団の方々、阿弥陀の山火事の消火にご活躍頂きありがとうございました。

増田耕太郎・濱中 幹雄

花を飾りましょう。

鹿間 行雄

早退します。菱田R情報委員長の卓話、週報で拝読させて頂きます。

柿木 國夫

所用のため早退致します。

アートサロン内垣

例会の貴重なお時間を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

卓話 「米山奨学事業について」

菱田ロータリー情報委員長

日本ロータリーが力を入れている国際奨学事業が3つあります。

1. ロータリー財団による奨学金
1. 青少年の国際的な学生交換
1. 米山奨学金

第1のロータリー財団により国際親善奨学金は、言うまでもなく、外国へ留学する日本人に対してロータリー財団がその費用を負担するもので、特に大きな特色は、財団への寄付者は、直接にも間接にも、財団プログラムからの受益者となつてはならないという方針によって、ロータリアンおよびその扶養家族・親族以外の者を対象とすることである。



第2の国際青少年交換は、その経費を受け入れ地区またはクラブが負担するもので、ロータリアンの子女のほか、ロータリアン、ロータリー・クラブまたは地区が推薦し後継者となっている者で、必要な資格要件を備えた若い人なら誰でも参加できる。(15～19才)

第3が米山奨学金で、財団法人ロータリー米山記念奨学会が行う**国際奨学事業**である。これは日本に留学する外国人を対象とする点で、前二者とは全く異なつた、日本のロータリー独自の奨学制度である。1971年、R I 会長代理として日本を訪れた R I 元事務総長ジョージ・ミーンズ氏から、日本独特の優れた国際理解活動であると称賛され、その拡大に一層努めるようにと公式の場で激励されるに及んで、その意義と地位が、実質的に公認されたといつてもよい。

またこの事業は、R I が国際奉仕におけるロータリーの基本方針として明記している「国際レベルの教育および文化交流活動」そのものであり、ガバナーが R I の役員として、地区内で米山奨学事業を推進することは、ロータリー財団プログラムの推進と並んで、R I の基本方針の実践にほかならない。しかも、自国の若者を留学生として外国へ送り出すロータリー財団の奨学事業と、外国からの留学生を受け入れる米山奨学事業とは、日本のロータリーにとっては、相互補完の役割をもつ車の両輪というべき意義をもっている。

米山奨学金の使命は金銭的援助だけではない。留学生のほとんどは、言語も風俗も習慣も違う異国で、生活苦と闘いながら、われわれの想像以上に孤独な思いをして勉学を続けており、多くの留学生が、日本人の中に心の友を求め、日本人の生活や家庭をもっと知りたがっている。この意味において、全国ロータリアンの友愛に支えられ、世話クラブのロータリアンがカウンセラーとなり、個人的接触によって彼らに常に対話と親睦の機会を与え、ロータリーを通じてよりよく日本を理解せしめようとする米山奨学事業は、留学生にとって誠に貴重な制度となっている。また、留学生は一方的に日本で学ぶだけではなくて、文化交流の担い手として、われわれ日本人自身が外国を理解し、外国人の民族性や、なまの対日感情を理解するチャンスを提供する得難い使節でもある。

米山奨学会とは

今後、日本の生きる道である「平和日本」をアジア諸国に、そして世界に理解してもらうための留学生支援こそ、最もふさわしい国際奉仕事業ではないか -。

- 1952年 東京R.C.が「米山基金」の構想立案
- 1954年 タイからソムチャード君来日
- 1957年 国内全クラブの合同事業へ
- 1967年 財団法人ロータリー米山記念奨学会設立

日本ロータリーの多地区合同奉仕活動

民間最大の奨学財団

日本で学ぶ外国人留学生に対し、ロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給。

半世紀もの歴史を有する、日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動。

106カ国、13,322人の留学生を支援。(2006年4月)

「世話クラブ・カウンセラー制度」

「世話クラブ」は、奨学生がロータリー活動や日本の社会に触れる基軸となります。

「カウンセラー」は、奨学生がクラブへ溶け込む橋渡し役となり、生活や学業面などの良き相談相手として、精神面から支えます。



クラブ会報委員会の「会員勤務先押しかけインタビュー」は紙面の都合上により省略させていただきます。

◇プログラム予定◇

2月9日(水)

世界理解プログラム例会
高砂カメラ 小沢やす子様
【国際奉仕委員会担当】

昼食メニュー 100万ドル
カレーライス&味噌汁

2月16日(水)

卓話
高砂神社宮司 小松守道様
於:高砂神社会館

昼食メニュー
幕の内&吸物

2月23日(水)

卓話 大西艸人様
「干潟の詩」

昼食メニュー
鍋焼うどん&炊き込御飯

3月2日(水)

卓話
廣瀬会員

昼食メニュー

・昼食メニューは仕入れの都合により変更することがあります。

会長 伊藤勝之 幹事 嶋谷拓雄 クラブ会報委員長 岡本崇司

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)